



JIPA 著作権委員会 概要

2019年8月23日





著作権委員会 概要 (委員数 28名/担当: 石島理事)

◆委員会活動

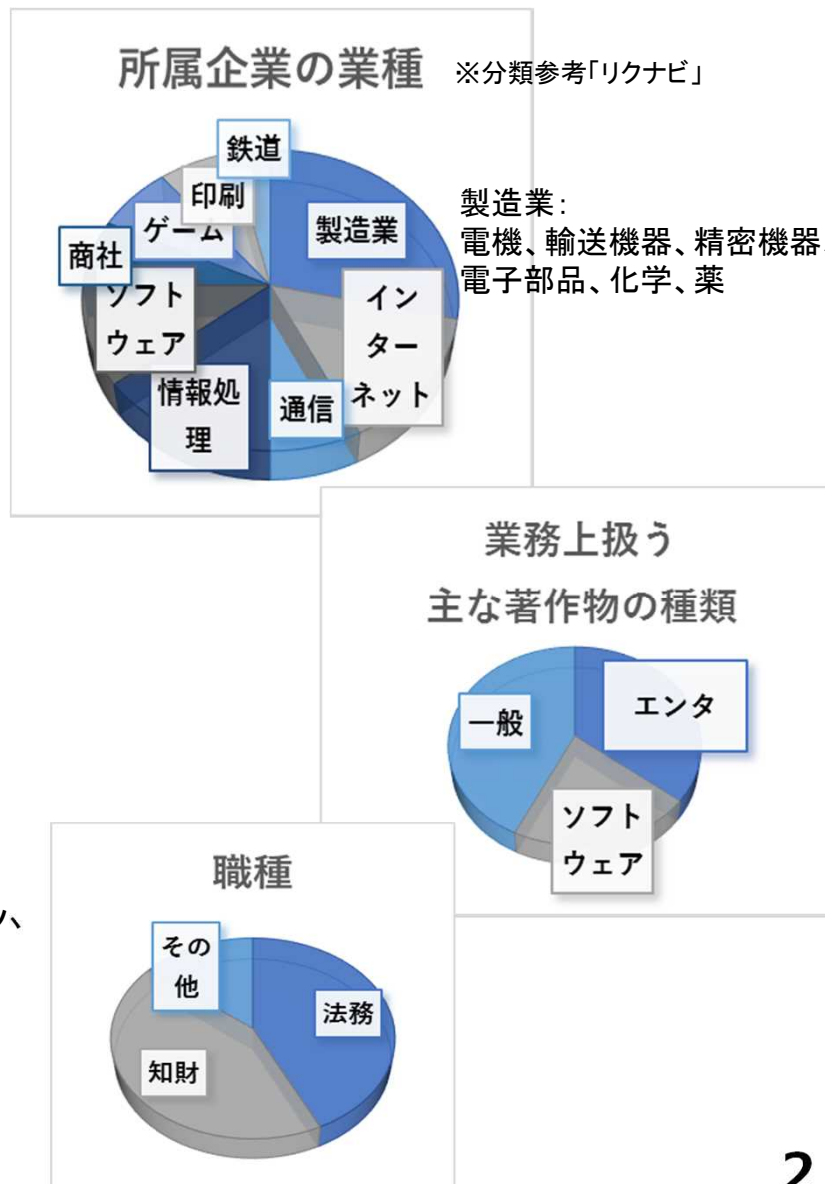
- ・月例で定例会を実施 (8月休会)
- ・定例会は2部構成

前半: 全体での文化庁審議会等の検討状況、著作権関連トピック等につき情報共有、意見交換
 後半: チーム別活動

1. 国内動向チーム
2. リーガル・ナレッジ・マネジメントチーム
3. 国際法制度チーム

◆次世代コンテンツ政策プロジェクトとの連携

パブコメ対応等の政策提言活動については同PJを中心に活動。委員会副委員長はPJメンバを兼任し、PJと委員会活動の連携を担う。





調査研究テーマ 概要（1）

1. 著作物・著作権の契約上の取扱いについて（国内法制度/契約系）

著作物・著作権の契約上の取扱いについて、参加企業の事例等も参考に、その背景にある考え方、近時の著作権法改正の影響等を調査・整理し、文献研究等を通じ、あるべき姿・望ましい姿を検討する。

➤「知財管理」へ投稿予定 入稿2020.1 掲載2020.5

2. AI創作物と著作権（国内法制度/新技術系）

AIを活用した創作物の生成のうち、AIが自律的に生成物を作成したと解される場合（著作物とはみなされず著作権の適用はない）の限界事例および実務上の注意点等について、英国法制度（Computer Generated works）等を比較対象としながら、考察する。

➤「知財管理」へ投稿予定 入稿2020.2 掲載2020.6

※上記のほか、文化庁の審議会等での法改正に係る検討状況等を勘案し、必要に応じて、日本の著作権法改正議論の
動向調査・内容の研究も行う。
～世界から期待され、世界をリードするJIPA～



調査研究テーマ概要（2）

3. 企業の著作権実務担当者向け「著作権Q & A」の作成（著作権教育・啓蒙）

各社の著作権関連照会事例等における法的な論点ごとに、関連した判決・文献等の整理・分析を行い、実務に役立つ資料としてまとめる。

4. JIPA著作権関連研修への講師派遣及び研修テキスト見直し（著作権教育・啓蒙）

JIPA研修定例コース（A 入門コース）、臨時研修「ケーススタディーで学ぶ著作権」への講師派遣、研修テキストの見直しをおこなう。





調査研究テーマ（3）及び その他の活動

5. 欧州著作権新指令の研究（国際法制度）

本年改正されたDirective on Copyright in the Digital Single Market（デジタル単一市場における著作権指令）の概要について調査・研究し、現地で活動する企業への影響や、関連する日本法制との比較考察等をおこなう。

➤「知財管理」へ投稿予定 入稿2019.12 掲載2020.3

◆その他の活動

- 文化庁著作権課との意見交換（次世代コンテンツ政策P Jと合同実施）
平成30年改正著作権法「柔軟な規定」に関する文化庁Q & A説明会 等
- 講演：「追及権」について 講師：山口大学 小川明子教授
山口大学 国際総合科学部国際総合科学学科 吉田キャンパス（10月実施）

